



# おおたの教育

## 今号の主な内容

- 1面 平成30年度教育予算
- 2面 教育長所信表明、就任所感
- 3面 小・中学生駅伝結果、就学援助費
- 4面 平成29年度教育実践功労者表彰

はねびょん©大田区

発行/大田区教育委員会 〒144-8623 東京都大田区蒲田5丁目37番1号ニッセイアロマスクエア5階 TEL03-5744-1111(代表) HP <http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

## 平成30年度 教育予算

# 不登校対策、教員の負担軽減に重点

3月27日、大田区議会が平成30年度予算を議決しました。区一般会計予算の総額は、2,788億円、そのうち教育関係予算は312億円となっています。

30年度は、「こころのケアと不登校対策の充実」「教員がゆとりをもって子どもと向き合える体制づくり」を最重点に取り組みます。

不登校の多くは、友人との不和等がきっかけとなりますが、その背後には、いじめや自尊感情の不足等、子どものこころに関するあらゆる問題が含まれていると言っても過言ではありません。不登校対策に取り組むことは、すべての子が学校生活を楽しく過ごす取り組みであるとも言えます。大田区教育委員会では、不登校予防を充実させるとともに、登校をためらう等初期段階の予兆期、将来への不安を感じつつも不登校が続く苦悶期、学校への復帰を模索し始める回復期のそれぞれの段階に即した対策を推進します。

また、学校現場を取り巻く課題が複雑化・多様化し、学校に求められる役割が拡大する中で、さらに授業改善も期待されており、教員の長時間労働の改善が課題となっています。教員の負担軽減は、子どものこころと向き合うゆとりにもつながることから、国や都と連携しながら、教員の負担軽減にも取り組みます。



## ～こころのケアと不登校対策の充実～

### ★スクールソーシャルワーカー及び スクールカウンセラーの増員 1億1,503万円

スクールソーシャルワーカーを増員し、学校への巡回体制や関係機関との連携の強化を図るとともに、不登校対策に取り組む中学校14校に対して、スクールカウンセラーの派遣を週2日から3日に増やし、相談体制を充実します。

### ★学級集団調査の実施(中学校) 1,003万円

学級集団調査を全中学校で年2回実施し、生徒のストレス状況や学級集団の状態を把握し、気がかりな子どもへの声かけや面談を行い、不登校やいじめの未然防止に努めます。

### ★登校支援員制度の新設 989万円

登校をためらう等、不登校の予兆を見せる児童・生徒に対して、顔見知りの支援員等が、家まで迎えに行ったり、別室対応を行う登校支援員制度を新設します。



### ★適応指導教室「つばさ」の整備 2億2,128万円

現在、週1回2時間配置している英語、数学(算数)の学習支援を担当する講師を週2回4時間に増やし、学校復帰や高校進学に向けた支援体制を強化します。

また、平成30年秋に羽田教室が(仮称)羽田四丁目複合施設へ、平成31年(2019年)春には蒲田教室が志茂田小学校へ移転します。教室面積を拡張し、学習や集団活動に取り組みやすい環境を確保します。

## ～教員がゆとりをもって子どもと向き合える体制づくり～

### ★部活動指導員の配置 1,840万円

中学校10校に競技会等の引率や日常の指導を単独で行うことができる部活動指導員を配置して、教員の部活動指導の負担軽減を図るモデル事業を実施します。

### ○副校長補佐の配置 1億4,555万円

特に勤務時間が長く、負担の大きい副校長の業務軽減を図るため、副校長を補佐する非常勤職員を全校に配置します。副校長が担っている教職員のサービス管理や各種調査等の補助業務を行うほか、教員の事務の一部を行わせることで広く教員の負担軽減につながっていきます。



## ～外国語教育の充実～

### ★小学校4～6年生における 外国語教育指導員の拡充 1億3,545万円

平成32年度(2020年度)の新学習指導要領の全面実施に向けて、平成30年度は小学校高学年の外国語活動の授業時数が増加するため、外国人による外国語教育指導員の配置を第4学年は12時間を25時間へ、第5・6学年は年25時間から40時間に増やし、外国の文化や英語に対する興味・関心・意欲を育て、国際人として活躍できる素地を培います。

## ～施設・環境の整備～

### ★計画的な校舎の改築 81億4,021万円

良好な教育環境の確保とともに老朽化に対応するため、平成30年度は、新たに矢口西小学校、安方中学校の改築計画に着手し、すでに設計や工事等に取り組んでいる以下の10校を含め全12校の整備を進めます。



▲東六郷小学校新校舎

- ①東六郷小学校②志茂田小学校③志茂田中学校④大森第四小学校⑤大森第七中学校⑥入新井第一小学校⑦東調布第三小学校⑧赤松小学校⑨田園調布小学校⑩東調布中学校

### ★六郷図書館の改築及び池上図書館の移転 6億610万円

老朽化に伴い改築を進めてきた六郷図書館が、いよいよ10月に竣工し、12月末に新施設での業務を開始する予定です。また、池上駅駅舎改築及び駅ビル建築計画に伴い、池上図書館を駅直上ライブラリーとして移転します。駅ビルの完成に合わせて、平成32年度(2020年度)の開館を目指します。

事業名の前に★印が表記されているものは、「おおた未来プラン10年」「おおた教育振興プラン2014」に掲げる計画事業です。

問合先 教育総務課庶務係  
TEL 5744-1422  
FAX 5744-1535

# 新たな教育長が就任

教育委員会は、教育に関する事務を処理するために、区長から独立して設置された執行機関です。教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表します。本紙平成30年1月1日号(134号)で速報したとおり、昨年12月22日、新たな教育長が就任いたしました。

## 教育長就任所感 まちが育てる大田の子ども 教育長 小黒 仁史



**プロフィール**  
東京福祉大学教育学部特任教授、元稲城市立若葉台小学校統括校長、元大田区教育委員会事務局教育総務部指導課長、元大田区立入新井第一小学校長

平成29年12月22日に教育長に就任させていただきました小黒仁史です。どうぞよろしくお願いいたします。  
私は、平成11年度から、大田区教育委員会の職員や入新井第一小学校の校長として大田区の教育にかかわらせていただいた経験があります。その中で、最も強く感じたことは、「義務教育の学校は、地域の方々がつくってきた。」ということです。

大田区の学校の歴史を紐解くと、明治の学制発布以来、地域の方が土地を提供したり、寄付を集めたりして学校を建ててきた歴史があります。地域の方々、子どもに未来を託し、学校教育の充実を図ってきた歴史です。

そして、子どもたちは地域の文化や伝統、人々とのふれあいから得た感性や価値観を体全体で受け止めて育っていきます。家庭や地域での温かい人とのかわりや体験が人格形成の基盤となります。

学校は教育の専門機関ですから、教師の優れた授業力や深い子ども理解に基づく生活指導、豊かな人間性は、子どもの成長にとって大変に重要であることは言

うまでもありません。しかし、学校を支え、温かい目で子どもの成長を見守り育てる地域の力は、家庭教育力が大切であると同様に欠くことのできないものです。

大田区には、豊かな教育資源がたくさんあります。優れた技を誇るものづくり、多摩川の豊かな自然、様々な文化財等々。そして、何よりも地域、地域に生き、子どもを育てはぐくむ温かい方々がいます。

さて、これから実施される新たな学習指導要領の大切なキーワードの一つは、「社会に開かれた教育課程」です。学校が教育の目標を地域や家庭と共有し、共に子どもの教育に携わっていかうというものです。

そして、大田区教育委員会の教育目標は、「すべての区民が広く教育に参加できる仕組みづくりを進める。」という言葉で結ばれています。大田区のすべての方々が生かす子どもの教育に参加いただき、まさに「まちが育てる大田の子ども」が実現できますよう、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

### 第1回区議会定例会

# 教育長所信表明

## 平成30年度に向け4つの方針示す

平成30年第1回区議会定例会初日(2月16日)、昨年12月に就任した小黒教育長が初めて登壇し、教育委員会の平成30年度の取組について所信を表明いたしました。



議場で発言する小黒教育長

私は、小学校の教員、教育委員会職員、校長、大学教授と長く学校教育に携わってまいりました。その経験の中で、教育施策を進めるにあたり大切にさせていただきたいことを四点申し述べさせていただきます。

#### ①「学校が元気で、活力があること」

大田区には、小学校60校、中学校28校の学校があり、約4万人の子どもたちが学んでいます。88校全ての学校が、4万人の子どもたちにとって、学ぶ喜び、生きる楽しさを実感できる場になることが、公教育の使命であると考えます。

そして、その使命を果たすためには、まず、学校が元気で、活力のある教育の専門的な組織として機能することが必要です。

学校を取り巻く環境は、社会の変化に従い、大きく変わりつつあり、グローバル化に伴う外国語活動の充実やコミュニケーション能力の育成、SNSの普及等情報化への対応など、様々な教育課題があります。

これらの課題を解決するためには、校長のリーダーシップのもと、学校が教育の専門機関として、組織的に創意工夫し、教育実践を積み上げることができる元気で活力溢れる存在であることが必要です。

平成32年度(2020年度)から実施される新たな学習指導要領においても、「主体的・対話的で深い学び」による授業改善が強く求められており、問題解決型、探求型の授業改善が全ての学習で求められています。

このような新たな授業の在り方を実現していくためにも、学校自身が課題解決を積極的に図る、元気で活力に溢れた組織であることが必要

です。

#### ②「教師の力を高めること」

教師は、子どもにとって最大の教育環境です。ある先生との出会いが、その人の人生を方向付けることもございます。子どもを深く理解し、その深い理解のもと、子どもたちの力を引き出し、成長させる教師の力の発揮が大田区の教育の充実には欠かせません。

教育の世界では、「凡庸な教師は説明する。優れた教師は模範を示す。最も優れた教師は、子どもの心に火を付ける。」という言葉があります。

教育委員会では、意欲を引き出す教育を教育目標の第一に掲げています。子どもたちの心に火を付け、意欲を育てる教育を大切にしています。子どもたちが将来にわたって伸びていく、自己指導能力を発揮して自らを自らの力で育てていく、そのような伸びしろのある子どもを育てるために、意欲を育てる教育を進めたいと考えております。

そのためにも、子どもたちの心に火を付け、感化することができるような指導力のある教師が必要です。教師の育成は、一朝一夕にはできませんが、教師の指導力の育成に最大限の努力を重ねていく所存でございます。

#### ③「地域力を生かした教育」

大田区の学校の多くは、明治以来、地域の方々から土地を提供したり、寄付を集めたりして、建ててきた歴史がございます。そして、現在も多く地域の方々のおかげにより、子どもたちの教育が支えられています。

私は教育長に就任してから二か月足らずに過ぎませんが、大田区の子どもたちの教育のために御尽力いただいている地域の方々がたくさんお会いする機会がありました。子どもに関わる様々な方々のおかげで、大田区の教育があり、子

どもたちの姿があることを実感いたしました。

新たな学習指導要領の最も大切なキーワードは、「社会に開かれた教育課程」という言葉です。学校が地域や家庭と教育の目標を共有し、協働して子どもを育てる教育の在り方が求められています。子どもたちが地域についての理解を深め、生まれ育った街を「ふるさと」と感じられるような取組みを進めたいと考えております。

#### ④「おおた教育振興プラン2014による総合的な教育施策の推進」

教育委員会では、「おおた未来プラン10年」のもと、「おおた教育振興プラン」「おおた教育振興プラン2014」を策定し、総合的に教育施策を推進してまいりました。

プラン2014には、教育施策の四つの基本的な視点と、六つのアクションプランを定め、5年ごとの成果指標と共に年度ごとの事業計画を定め、着実に事業を推進することで成果指標を達成し、教育の向上を実現してまいりました。その地道な取り組みの成果が、子どもたちの姿に表れてきていると感じております。

「おおた教育振興プラン2014」は、平成30年度で終了しますが、更なる5年間の教育振興計画を策定し、大田区の教育施策の推進がさらに充実したものとなるように努力してまいりたいと思っております。

教育は、子どもたちの一人ひとりに、自ら学び、考える姿勢を身に付けさせ、大田区の未来の担い手として、豊かな人生を切り拓くための基礎となる「生きる力」を育成する、大変重要な仕事であります。

大田区教育委員会は、引き続き学校、家庭・地域と連携しながら、「おおた教育振興プラン2014」に掲げる事務事業を着実に推進してまいります。

# 第6回小学生駅伝大会・第9回中学生「東京駅伝」大会報告

## ＜第6回小学生駅伝大会＞



平成29年12月26日(火)、大田スタジアム特別周回コースにおいて、第6回小学生駅伝大会が開催されました。区立小学校60校から、5・6年生の代表児童917名が参加し、自校のたすきをつなぎ、全力で走る児童の姿が、多くの人に感動を与えていました。

観客席や特設周回コースでは、約5000人の保護者や地域の方々が、選手へ熱い声援を送っていました。今年度も、小学校PTA連絡協議会の御協力により、大田区公式PRキャラクターのはねぴよも会場で応援し大会を盛り上げていました。

## ＜第9回中学生「東京駅伝」大会＞

平成30年2月4日(日)、都内50地区の区市町村を代表する中学2年生が、味の素スタジアム・都立武蔵野の森公園特設周回コースを駆け抜けました。男子は、42.195kmを17名で、女子は30kmを16名でたすきをつなぎました。「大田区選抜チーム」は、男女共に敢闘賞を受賞し、男女総合第7位と大健闘しました。

結果は、以下のとおりです。

＜団体＞ 女子の部 第8位 1時間54分29秒  
敢闘賞(第4位から第10位までに授与)  
特別賞(前年度までの最高記録を更新)  
男子の部 第7位 2時間23分44秒  
敢闘賞(第4位から第10位までに授与)  
男女総合 第7位 4時間18分13秒  
敢闘賞(距離別で個人第4～第10位の選手に授与)

＜個人＞

女子個人1.5kmの部 第10位 田中 優杏(大森第一中) 5分22秒  
男子個人2.0kmの部 第6位 保科 源(石川台中) 6分30秒  
女子個人2.5kmの部 第6位 外間 礼那(矢口中) 8分52秒



▲男子代表生徒 ▲女子代表生徒

問合先 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

## 給食費や学用品購入費の一部を援助します(就学援助)

### 対象

小・中学生のお子さんの保護者で、大田区にお住まいの方のうち、下記のいずれかに該当する方。

- ① 生活保護を受けている(要保護認定者)
- ② 同一生計を営む世帯全員の平成29年中の所得の合計が認定基準所得金額に満たない(準要保護認定者)

《認定基準所得金額の目安》

世帯人数	2人	3人	4人	5人
認定基準所得	277万円	345万円	378万円	465万円
給与収入(参考)	414万円	498万円	540万円	648万円

※あくまでも目安です。家族の年齢構成等によって異なります。

### 援助内容

- 認定された場合は、下表の内容が受けられます。ただし、認定区分・学年及び申請月によって費目や支給額は異なります。
- 要保護認定者(生活保護受給者)については、網掛け部分は生活保護費から支給されるため就学援助での支給はありません。
- 就学援助は、認定された方に就学援助費を支給するものであり、給食費や教材費等の学校納付金が免除されるものではありません。

○給食費(国立・都立・私立学校は除く)	○学用品費
○新入学用品費	○体育実技費(購入者のみ)
○通学費(特別支援学級(固定)通学者のみ)	
○校外授業費	○移動教室参加費(参加者のみ)
○修学旅行参加費(参加者のみ)	○クラブ活動費(小学校4～6年生のみ)
○卒業アルバム費(購入者のみ)	○医療費(対象疾病のみ)

### ※新入学用品費について

平成30年4月の新入学者から、入学前支給を行っています。平成31年4月に中学校へ入学されるお子さんがいて、入学前支給を希望される場合は、小学校6年生の時点で就学援助の申請を行ってください。

### 申請方法

4月上旬に学校から配布する「平成30年度就学援助受給希望調査書(申請書)」を期日までに学校へ提出してください。なお、大田区以外の区市町村立及び国立・都立・私立小中学校に通っている場合は、下記までお問い合わせください。

問合先 学務課学事係 TEL 5744-1429 FAX 5744-1536

## 平成30年度 土曜日の授業を実施します

平成30年度、大田区立学校では、平成32年度(2020年度)の新学習指導要領全面実施に向けて、小学校第3・4学年の外国語活動及び第5・6学年の外国語科等の実施に必要な授業時数を確保するために、毎月1回以上、土曜日の授業を実施します。

土曜日の授業は、原則、第2土曜日(地域行事等の事情により異なる場合があります)に行い、8月は除きます。

また、小学校は、外国語活動のための授業時数が確保できる場合、学校行事がある月は、当該月の土曜授業を別途行わないことがあります。中学校は、原則として、学校行事及び振替休業日をとる土曜授業と土曜補習教室がある月は、当該月の土曜授業を別途行わないことがあります。

具体的な土曜日の授業の日程については、各学校より別途お知らせします。

問合先 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

## 平成30年度 小学校外国語教育指導員の配置拡充について

平成30年度は、小学校において平成32年度(2020年度)から全面実施となる新学習指導要領に対応する移行措置として、小学校第3学年及び第4学年において35単位時間の外国語活動を実施します。また、小学校第5学年及び第6学年において50単位時間の外国語活動を実施します。

羽田空港を擁する大田区は、区の目指す姿として「国際都市おおた」を掲げています。そのことから、大田区教育委員会では、外国人の外国語教育指導員を派遣して、低学年のうちからネイティブ・スピーカーの発音を聞き、実際に会話を体験する体験をとおして「国際都市おおた」にふさわしい国際人の育成を推進しています。平成30年度は、外国語教育指導員の派遣時数も増やし、この取り組みを強化します。

校種	学年	平成29年度		平成30年度	
		標準時数	外国語教育指導員の派遣時数	標準時数	外国語教育指導員の派遣時数
小学校	1	8	8	8	8
	2	8	8	8	8
	3	35	25	35	25
	4	12	12	35	25
	5	35	25	50	40
	6	35	25	50	40

問合先 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

平成29年度大田区教育委員会

# 教育実践功労者表彰

教育委員会では、区の教育の発展に貢献し、その功績が顕著で優れた教育実践を行った教員を「教育実践功労者」としてその功績をたたえ毎年表彰しています。平成29年度は、5名の方が受賞されました。今後も大田区の教育のためにご尽力いただき、子どもたちの健やかな成長を支えていただきたいと思います。  
 問合せ先 教育総務課庶務係 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535

**黒飛 武志 主任教諭**  
 (蒲田中学校 技術)

様々な場面で、私に挑戦する機会を与えて下さった全ての方々に感謝を述べたいと思います。皆様のご支援があって、この素晴らしい賞を頂くことができました。今回の受賞を自信にし、まずは目の前の生徒達に還元できる様に努めます。ありがとうございました。

大田区ICT活用推進モデル校の推進委員長として、教員のICTに関する意識・活用能力の向上や生徒の学力向上など顕著な成果を上げ、大田区立の全小中学校の普通教室ICT化の実現に貢献されました。また、大田区教育研究会技術部及び「東京教師道場」ではICT関連の豊富な知識や技術を広く情報提供し、校内外で貢献されました。

受賞者のコメント(上段)、受賞理由(下段)を紹介いたします。



**荻野 武雄 主幹教諭**  
 (御園中学校 数学)

長いようで短かった教員生活が終わろうとしています。今思い返すと、良い仲間、素直な生徒、協力的な保護者に恵まれ、楽しく仕事をすることができました。そして、最後に「教育実践功労者表彰」を受賞できる喜びを感じて教員を卒業します。

生活指導主任として、区立中学校3校で組織的に生徒の指導を行える体制づくりを行い、問題行動を起こした生徒に対し熱心に指導され、学校全体の生活指導上の課題解決に大いに貢献されました。部活動では、東京都中学校体育連盟の野球部専門委員として、大田区の中学生の野球技術向上に貢献されました。

**栗原 辰朗 主幹教諭**  
 (赤松小学校 全科)

教務主幹として学校全体の視点から教育活動を考え、体力調査委員会や区教育研究会等で知見を広めようと取り組んできました。受賞者として恥じぬよう、今後も児童の成長を願い後進の育成も忘れず精進します。

教務主任として研究推進の中心的な役割を担い、特に体育科指導の専門性を発揮し校内研究の推進に貢献されました。また、他学年との縦割り班で行う「運動タイム」を提唱し、児童の体力づくりに貢献されました。大田区教育研究会体育部では研究担当委員を務め、「東京教師道場」のリーダー(体育科)として、指導力を発揮されました。

**坂 かおり 主幹教諭**  
 (矢口西小学校 全科)

いつもご指導、ご支援いただいている方々に感謝申し上げます。これまでの教師生活を振り返る機会をいただきました。子供の笑顔と幸せのために、何ができるかを考えながら日々研鑽に努めて参ります。

生活指導主幹、教務主幹を歴任し、若手教員や主任教諭への指導・助言を適切に行い、人材育成に貢献されました。校外においても、大田区教育研究会国語部副部長として授業改善リーダーや漢字検定問題作成者として重要な役割を担い、大田区の国語教育に貢献されました。

**佐野 稔 主幹教諭**  
 (糀谷中学校 国語)

今回の受賞は、たいへんありがたく、また身の引き締まる思いです。校内の先生方の力が十分に発揮されるような学校を目指し、微力ながらこれからも取り組んで参ります。校長先生をはじめ、特に3学年の先生方に感謝いたします。

学校行事終了後に生徒に「心に残る一言」を書かせ、なぜその言葉を選んだのか説明させるなど生徒の発想や感性を大事にした授業を展開し、このような取り組みを通して生徒の作品が様々なコンクールで入賞しました。また、教務主任として様々な事務改善に取り組むことで教員間の情報共有が深まり、教員の意識向上に貢献されました。

## 大森第六中学校が環境大臣表彰など受賞

大森第六中学校が環境省主催の平成29年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰で「環境教育活動部門」を受賞し、地球温暖化防止全国ネット主催(環境省・文部科学省後援)の「低炭素杯2018」で「最優秀地域・学校エコ活動賞」を受賞しました。「低炭素杯2018」では、1167団体の応募の中から30団体のファイナリストとして選ばれ、2月15日に日経ホールで大森第六中学校の生徒がプレゼンテーションを行いました。勝海舟、ホテル、町の少年、農援隊、地域の人などを生徒が演じ、プレゼンターを生徒会副会長と自然科学部部長が担いました。



▲ファイナリストとしてプレゼンテーションする生徒



▲表彰される生徒

### 教育委員会定例会の主な議題

教育委員会定例会の主な議題

- 平成29年第12回定例会 平成29年12月21日(水)開催
- 平成30年第1回定例会 平成30年1月24日(水)開催
- 平成30年第2回定例会 平成30年2月14日(水)開催
- ・平成28年度おおた教育振興プラン2014の事業実績と評価について

### 教育委員会定例会の開催予定日

- 日程 ①平成30年3月28日(水)  
 ②平成30年4月26日(木)  
 ③平成30年5月23日(水)
  - 時間 ①午後1時から  
 ②午後3時から  
 ③午後2時から
  - 場所 蒲田5-37-1ニッセイアロマスクエア5階 教育委員会室
- ※予定が変更になる場合があります。傍聴を希望される方は、あらかじめ下記問合せ先へご確認ください。  
 ※手話通訳・要約筆記が必要な方は、開催日1週間前までにご連絡ください。

問合せ先 教育総務課庶務係  
 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535